

★ 空の詩 三編 解答

一年組番

名前

【目標】詩の情景や表現の効果について考えよう。

【『雲』山村暮鳥】理解ワークシート(穴埋め式)※解答例
1. 詩の理解

丘の上で

(としより)と

(こども)と

うつとりと雲を

ながめている

おうい雲よ

ゆうゆうと

(馬鹿)にのんきそうじゃないか

どこまでゆくんだ

ずっと(磐城平)の方までゆくんか

2. 内容の確認

(1) この詩は、どんな気持ちや雰囲気を表していますか。

(ア) 悲しく苦しい感じ

(イ) 怒っている感じ

(ウ) 素朴でのびのびとした感じ ☒

(2) 「としよりと／こども」は、作者自身と誰のことだと考えられていますか。

↓ 死期の迫った作者と(十歳の子ども)と考えられています。

(3) 「雲もまた自分のようだ」とありますが、作者はどんな気持ちでこの言葉を書いたのでしょうか。

↓ 死が近づく中で、(これからどうしてよいかわからない不安)という気持ちを雲に重ねた。

(4) 「おう老子よ」とは誰のことですか。

↓ (紀元前6世紀ごろの中国の思想家)という紀元前の中国の思想家で、「(無為自然)」
という考え方を説いた人物です。

(5) この詩が作られたのは、作者がどこに住んでいた時期ですか。

↓ (茨城)県(大洗)町で療養生活をしていた頃。

(6) 山村暮鳥は何の病気を患っていたと書かれていましたか。

↓ (結核)

3. 自分の考え

あなたは、青空を流れていく雲を見てどんなことを思いますか？

また、作者の気持ちに共感できるところはありましたか？感じたことを書いてみましょう。

（例）

雲を見ると、どこまでも自由に流れていてうらやましいと思います。作者が雲に自分の不安な気持ちを重ねたところに共感しました。自然の中で気持ちをゆるめることの大切さを感じました。

詩「朝」ワークシート（吉田 加南子）―【模範解答】

【1】詩の内容について

「空の遠さが屋根にふれている」という表現には、空と屋根がまるで（ア：接して）しているように見える様子が描かれている。

「ふれている」という表現には、空を（イ：擬人）化して描いている工夫がある。

実際には空と屋根の間には（ウ：距離）があることを、「まじわることなく」という言葉で表している。

作者が心を動かされたのは、朝に見た（ウ：空の遠さ）の様子である。

【2】表現技法と効果について

「――まじわることなくの――」（ダッシュ）には、（感動をこめた間をつくり、倒置法を印象づける）という効果がある。

「空の遠さが屋根にふれている」という文は、「空の遠さ」「屋根」「ふれている」が普通の語順とは異なる形で書かれており、これは（ア：倒置）法と呼ばれる。

【3】詩の味わいについて

この詩は、（ア：対比）と言葉のつながりで、空の広がりや美しさを印象づけている。

作者は、屋根のすぐ上にあるように見える空が、実は（はるか遠く）まで広がっていることに感動している。

【4】自由記述

（例）

朝、家の窓から空を見たときの、静かで澄んだ雰囲気を感じられました。「まじわることなく」という言葉から、空と屋根がつながっていない広がり进行想像し、自然の大きさに気づかされました。（六十字）

一 詩の内容を整理して、空欄を埋めよう。

この詩は、海鳥が急降下して（魚）を捕らえる場面から始まります。

鳥は翼で（海）を打ち、魚を捕まえ、空へと飛び立ちます。

魚は、（海）を抜け出て、

空の高みでもう一つの空に（のまれ）ます。

二 技法を見つけよう

次の技法が使われています。あてはまる言葉を選んで、記号を書こう。

ア：倒置法 イ：擬人法 ウ：写实的表現

（ア）「魚は海を脱けでる。初めてそして たった一度だけ。」

（イ）「波は海のやぶれ目を ごまかしている。」

（ウ）魚が空へとまれる様子は、現実の風景をリアルに描いた表現です。

三 言葉の意味を考えて、空欄を埋めよう。

この詩の題名「魚と空」は、「ウオとソラ」と読みます。

ここでの「魚（ウオ）」は、（水中）の中にすむ生きものとしての魚のことを

指します。一方、「サカナ」は、（食べ物）としての魚のことです。

四 読解して、空欄を埋めよう。

「空の高みでもう一つの空」とは、単に現実の空を指すのではなく、

魚が命を終え、（別の世界）ような場所への旅立ちを表しているとも読めます。

これは「食物連鎖」や「命のつながり」といった（命のつながり）の意味も感じさせます。